

令和6年度

第3回 大阪市立北中道幼稚園 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立北中道幼稚園

| | | | |
|------------|--|--|--|
| 日 時 | | 令和7年2月28日(金) 15:00～16:20 | |
| 場 所 | | 大阪市立北中道幼稚園 リズム室 | |
| 出席者 | 委員 | 8名 | |
| | 校 園 | 園長・主任 | |
| | 区役所 | 1名 | |
| 議 題 | | (1) 運営に関する計画(最終評価)について (2) その他 | |
| 協 議 要 旨 | 協議の結果 | | 意見等の概要 |
| | (1) | ○「運営に関する計画」 (最終報告) について 報告を行ったところ、概ね理解を得た。 | ○4歳児になる我が子を見ていると、自宅では5歳児に憧れて太鼓を叩いてみたり、登園時、門から3歳児の友達を見つけて、一緒に手を繋いで保育室まで行ったりするなど、異年齢交流『わくわくたいむ』の活動がとても重要であることを感じる。幼稚園教育活動の中で様々な人との関わりを大切にし、自分より年下の友達をいたわり、優しい気持ちで関わっていることを先生方から伺い、嬉しく思う。これからも異年齢交流を続けてほしいと願っている。 ○生活発表会の際、5歳児の我が子を見て、特に劇遊びでは大きく成長した様子を見ることができてとても嬉しかった。 ○5歳児なる我が子が、祖父の家に遊びに行った際、大工道具を見かけ、幼稚園で木工遊びをしたことを得意気に話す姿が見られた。幼稚園での経験『遊びたい、学びたい』の根底が大切であることを感じた。 ○北中道幼稚園は地域とのつながりも深く、地域行事なども多い。感謝の気持ちでいっぱいである。 夏休み8月に行われた『地域主催 KNM大作戦！公園で遊ぼう』では、久しぶりに友達と再会し、2学期をスムーズに迎えることができたように思う。子育ては親だけでできるものではないと日々感じている。 ○計画された目標を上回って達成されており、教職員の方々が一生懸命取り組んでこられた成果であることがよくわかった。幼稚園で育まれた姿を小学校でも引き継いでいくとともに、幼小連携・接続について進めていきたい。 ○高齢者施設との交流では、お年寄りの方々も昔、父親であったり、母親であったりという立場であられたこともあり、小さな子どもたちと触れ合うなかで「守る」という意識が高まり覚醒度が上がると言われている。引き続き交流をしていただきたい。 |
| | (2) | ○その他 | ○特になし |
| 協 議 資 料 | ・令和6年度「運営に関する計画(最終評価)」(案) ・令和6年度「運営に関する計画」(添付資料)(案) | | |
| 備 考 | 欠席者1名、傍聴者0名 | | |